

WAKUWAKU通信

Mar.2019
Vol.4



OSEKKAERU

特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク

発行日:2019年3月 発行者:特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 〒171-0014 東京都豊島区池袋三丁目52番21号

WEB:<http://toshimawakuwaku.com> TEL:090-3519-3745 Mail:info@toshimawakuwaku.com

「ぼんぼこ祭」(1月20日)開催!!

今から数年前、東京ボランティアセンターの河村さんは、車いすの白井さんが、盆踊りやお祭りに心躍るけれど、自分はどこか入りにくいと感じていて「障害、高齢者、子ども、外国籍、LGBTなど、ちょっと窮屈に暮らしている人も夢を持てるといい。その夢は、身のまわりの人との交流・共感から叶うことができるんじゃないかな。それなら座学と違った学び、気づきがあるんじゃないかな。そんなお祭りのようなことがやれたらな・・・」という思いがあることを知りました。

それからずっと白井さんの「やってみたい!」が河村さんの心に引っかかっていました。昨年6月、河村さんは池袋本町プレーパークに立ち寄った際に、白井さんの思いをWAKUWAKUスタッフに提案し、それを実現するため本格的に動き始めました。

白井さんの思いは、河村さん、WAKUWAKUのスタッフ、豊島区社会福祉協議会CSWの心(価値観)をつなぎました。さらに企業、町会、医療関係者、NPO関係者などがつながり、区立池袋中学、池袋本町小学校のご協力のもとで、学校をメイン会場として「ぼんぼこ祭」を開催することになりました。

「参加された方からの声」

4才児と一緒に伺いました。我が子が気に入ったのはプレイパークと飲食でしたが、親としては「見えない体験」や「外国クイズ」が良かったです。

これまで、道に黄色いブロックがあると、我が子に「乗っちゃいけないよ、それは目の見えない人が…」と説明していました。でも、いまいちイメージがわかんなかったようで。今回、視覚障害がある方とお話したり、白杖を持たせてもらったりしたことで、実感を持ってもらえるかな、と思います。

外国クイズの良さも、いろんな国から来た人に実際に会えたことです。我が子の保育園にも外国からきた子がいるのですが「その子だけが特別な存在ではないんだよ」と分かってもらえたらいいな、と思いました。

子どもの居場所は、家庭や保育園に限られがちで、大人よりも狭い世界に生きているような気がします。そうした狭い世界の中で「いろんな人が身近に暮らしているんだ」と感じられるイベントは、とても大切だと思います。



(表紙の写真は、ぼんぼこ祭りの様子です)

5回目の開催となる子ども食堂サミットについて

2019年2月10日(日)14:00~16:30、としまセンタースクエアにて5回目となる子ども食堂サミットを開催しました。全国の子ども食堂実践者が集まり、約250名の参加者で会場は熱気に包まれました。

だんだんの近藤博子さんの「人って大事」という暖かいメッセージから始まりました。次に、滋賀県では社会福祉協議会、北九州市では行政、岡山県では大学が中心となって、子ども食堂のネットワークが形づくられていくプロセスが語られました。子ども食堂サポートセンター、全国子ども食堂支援センター・むすびえという2つの中間支援団体からのプレゼンテーション。首都大学東京の室田先生より、厚生労働省の「子ども食堂通知」についての説明がありました。任意の市民活動が取り上げられて、4人の局長の連名で通知を出すということはきわめてめずらしいことだそうです。「子ども食堂」という活動が行政や国を動かしているのです。

最後に、栗林さんが「子ども食堂のこれから」ということで、WAKUWAKUのこれまでの活動の広がりや、子ども食堂の次への取り組みとして、パントリーピックアップ事業について説明をしました。

全国の子ども食堂の皆様の交流の場となり、パワーをもらえるイベントとなりました。

共催：子ども食堂ネットワーク・NPO法人 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 協賛：豊島区



WAKUWAKUホームはこんなところです

玄関、開けるとすぐに上へとあがる階段があります。

キッチン。みんなで楽しくご飯を食べる場所です。

2階に宿泊用の部屋が2つあります。勉強もできるように机と椅子が置いてあります。

1階リビング(共有スペース)玄関を開けるとすぐのお部屋です。天井には、子どもたちが描いた絵が飾られています。

2階リビング(共有スペース)ソファもあるので、みんなで座ってテレビを観たりくつろげる場所です。

WAKUWAKUホームの入り口の扉。

WAKUWAKUホームは2017年4月にオープンしました。

親子の距離をとりたいとき、緊急に預かってほしいとき、泊まることができます。対象は小学生以上です。

水、金、土の午後は、居場所として開放しています。

お問合せは、080-3402-6739(天野)までお願い致します。※赤い羽根福祉基金の助成を受けて運営しています。



赤い羽根
福祉基金

いけいけ子ども食堂について

私がWAKUWAKU勉強会で伴走している男の子が1人でコンビニで夕食を食べている姿を見て衝撃的だったのがきっかけで、毎月第1・第3水曜日にWAKUWAKUホームで子ども食堂を開催しております。

今ではWAKUWAKUで繋がっている子どもたちを中心に毎回10~15人の子どもたちが遊びに来てくれるようになりました。今までまったく馴染みのなかった池袋という街でこうした活動ができるのもWAKUWAKUあってのことであり、自分自身も楽しめていることに大変感謝しております。また、2018年2月にオープンして以降、多くの方々のご支援や一緒に活動してくれるスタッフのおかげで無事に1周年を迎えることができました。

こうした活動をするうえで大切なのは「できるだけ長く続けること」だと考えておりますので、今後も子どもたちのために無理せず楽しく続けていけたらと思います。そして子どもたちやスタッフにとっても、いけいけでの経験が今後の糧となることを願っております。(吉田雄太)



WAKUWAKU最近の出来事

ご支援ありがとうございます!!



KFケミカル(株)(12月22日)
恒例クリスマス焼肉パーティーの開催



あうるすぽっと・日大芸術学部(12月25日)
日大芸術学部とあうるすぽっととWAKUWAKUの協働でクリスマスイベントの実現。趣向をこらしたプログラムの数々、最後は子どもたちみんなで踊って盛り上がりました。



(株)ローヤルエンジニアリング(1月19日)
サンシャイン展望台&懇親会へのご招待



CS(キャリアスマイル)友の会(1月20日)
ぼんぼこ祭りにておしるこの提供



東都生協「未来につなぐ募金」
子ども食堂へのご寄附

日本ケロッグ合同会社
子ども食堂4か所へのシリアル製品の提供



寄附・賛助会員でのご支援よろしくお願ひします。

「ゆうちょ銀行からお振込の場合」

【口座番号】00170-5-728808 【加入者名】豊島子どもWAKUWAKUネットワーク

「ゆうちょ銀行以外からお振込の場合」

【店名】〇一八(読み ゼロイチハチ) 【店番】018

【預金種目】普通預金 【口座番号】5639629

ご寄附・賛助会員でお振込みされた方は、メーリングリストに加入致します。

ご希望のかたは、QRコードまたは、<http://toshimawakuwaku.com/kihusanzyo>よりご確認ください。



クレジットカードでのご寄附、賛助会員費のお支払いも可能です。今回のみのご寄附から月単位での継続したのものまでご利用いただくことが可能です。詳細は、WAKUWAKUのサイトまたは、上記QRコードよりご確認ください。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。